



JPI催しのご案内

2020
12

公益社団法人日本包装技術協会

— 研究会の参加申し込み方法について —

JPIホームページより参加登録をお願いします。

Web上での研究会(ウェビナー)となります。ご参加用URLは研究会開催前日までに、メールで送付致します。

●開催要領

日 時 令和2年12月2日(水) 14:00~16:00 / 12月7日(月) 10:30~12:00

参加費 JPI法人・個人会員: 無料 / 一般: 3,300円(1部会、税込) **定 員** 300名

12月2日(水) 14:00~16:00

【テーマ】食品産業におけるプラスチック資源循環に向けた取組み

近年、国内外で海洋プラスチックごみが問題となるなど、プラスチック資源循環のあり方が注目されている。このような中で、食品容器包装をはじめ、消費者に極めて身近なプラスチック製品を利活用している食品産業においても、その対策に取り組んでいく必要がある。今回は、わが国におけるプラスチックの現状、「プラスチック資源循環戦略」や「レジ袋有料化義務化」といった政府としての対応について紹介いただく。

【講 師】 農林水産省 食料産業局バイオマス循環資源課食品産業環境対策室 食品産業環境対策室長 **野 島 昌 浩 氏**

12月7日(月) 10:30~12:00 第111回包装情報研究会

【テーマ】分かりやすい包装を考える — 認知科学と包装 —

包装にも分かりやすさが必要である。以前、市販の様々な日用品包装をたくさん買い集め、その開け口を何秒で探し当てられるか、という実験をしたことがある。早い人で1秒、遅い場合は15秒もかかった。若年と高齢のグループ間の差は平均4秒と、明らかに高齢者は時間がかかっていた。原因は、開封位置やその開け方が様々かつ複雑で分からないということであった。

開け口に限らず、包装を買い求めてから開けて内容物を取り出し、さらに使い終わって処理するまでには、消費者は包装に関する様々な理解や推測をしなければならない。取り出し方、注ぎ方や使い方、置き方、再封の方法、保管の方法、廃棄の方法等々、かなりのステップがある。その都度、頭をひねる。あまり工夫のされていないものも多い。

頭をひねるということは、科学的に言えば脳の認知機能、その入力感覚機能となる。視覚や触覚や時に聴覚を通して得た情報から私たちは「開け口」や「開け方」を即座に理解し目的を果たす。分かりやすい包装を目指すには脳機能を理解しなければならない。

認知科学の要素には、注意、探索、記憶、学習、推論などの高次脳機能があり、これらは認知的なデザインの基礎となる。一方、認知的なデザインにはアフォーダンス、ユーザビリティ、ユーザーエクスペリエンス、アクセシビリティなどの原則があり、これらの考え方は様々な産業の製品設計に応用されている。

本講演では、分かりやすい包装を認知科学や認知的デザインの面から考察し、これからの人に優しい包装の要件について考えてみたい。

【講 師】 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 人間情報インタラクション研究部門 名誉リサーチャー **佐 川 賢 氏**
【コーディネーター】 ㈱クラウン・パッケージ 社長付広報室 室長 テクニカルマネージャー **八木野 徹 氏**
花王㈱ 包装技術研究所 室長 岩 坪 貢 氏

申込要領

- ◆お申込は当会ホームページより、先着順とさせていただきます。
- ◆お申込みが定員に達した場合、一社における参加人数に制限を持たせて頂く場合があります。
- ◆お申し込みは、研究会開催3日前までをお願いします。

個人情報の取扱いについて

- 1) 個人情報は「公益社団法人日本包装技術協会 研究会」の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。
- 2) 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合等を除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

参加申し込み方法と注意事項

- ・本催しはwebを使用してのオンライン研究会(ウェビナー)になります。
- 申し込みは当会ホームページの研究会参加申込ページより登録いただくようお願いいたします。申込者には後日「ウェビナー招待メール」をお送りしますので、**メールアドレスの入力を間違えてしまうと登録できずメールをお送り出来ません**のでご注意ください。
- ・お送りする「ウェビナー招待メール」にて、**参加用URL、参加方法、参加までの手順、注意事項**をお知らせしますので、確認の上参加の準備を進めて下さい。
- ・申込者1名のみ本催しに参加できます。1つのメールアドレスで1人しか参加できません。
- ・その他注意事項などにつきましては当会ホームページ上よりご確認の上、参加登録をお願い致します。

当会ホームページ URL : <https://www.jpi.or.jp/>

裏面にもウェビナー情報があります。

◆お問い合わせ及び各種催しの申し込み先◆

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
公益社団法人日本包装技術協会 担当: 佐藤 TEL.03-3543-1189 FAX.03-3543-8970
●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。 URL <https://www.jpi.or.jp/>

令和2年度 包装情報ステーション

— 包装情報ステーションの参加申し込み方法について —

JPIホームページ(URL:<https://www.jpi.or.jp/>)より参加登録をお願いします。

Web上で実施するセミナー(ウェビナー)となります。ご参加用URLは研究会開催前日までに、メールで送付致します。

●開催概要

日時 2020年12月10日(木) 14:00~16:20

[第一部] 14:00~14:40 [第二部] 14:50~15:30 [第三部] 15:40~16:20

参加費 JPI法人・個人会員:無料/一般:3,300円(1部会、税込)

定員 300名

第一部 14:00~14:40 (発表:30分/質疑応答:10分)

テーマ 消費者に新たな体験を提供する燻製パッケージの開発

発表者:アサヒビール(株) パッケージング技術研究所 開発第一部 主任研究員 宮下 裕介 氏

要旨:消費者がパッケージに求める価値は、従来の包装としての機能だけでなく、+αの価値が重要になってきていると考えている。そこで、パッケージを通して、消費者に新たな体験を提供できる商品の開発を目指した。今回、パッケージ自体が燻製器になり、チーズなどの食材さえあれば、手軽に燻製を作ることができ、手づくりの燻製料理とそれをつまみにビールを楽しむことができるパッケージを開発したので、その仕様および機能について報告する。

第二部 14:50~15:30 (発表:30分/質疑応答:10分)

テーマ LED照明によるパッケージ印刷の退色問題とその対策について

発表者:ソニーホームエンターテインメント&サウンドプロダクツ(株) V&S事業本部商品設計部門 橋本 勝郎 氏
機構設計部包装設計課 メカニカルマネージャー

要旨:以前より弊社製品の店頭展示品のパッケージ退色が問題となっていたが、それは日光によるものであった。しかし近年、日光が当たらない展示品のパッケージにおいても退色が発生したため、その原因を追及したところLED照明によるものであると判明した。その原因の確認と対策、耐光性の確認、試験方法について言及する。

第三部 15:40~16:20 (発表:30分/質疑応答:10分)

テーマ ハイバリアPPモノマテリアルパッケージ

発表者:大日本印刷(株) 包装事業部 長谷川 駿行 氏

要旨:近年、プラスチックのリサイクルが求められているが、食品を直接入れるようなパッケージは複数の材質で構成されているためにリサイクル性が悪く、リサイクルされていないのが現状である。一方、単一の材質で構成されたパッケージは、リサイクル性は向上するもののバリア性が低下するため、従来のパッケージからの切り替えが進んでいなかった。しかし今回「リサイクル性に配慮しながらも高いバリア性を持つ」単一素材パッケージの開発に成功したので紹介する。

参加申し込み方法と注意事項

- ・本催しはwebを使用したセミナー(ウェビナー)になります。
申し込みは当会ホームページより登録いただくをお願いします。申込者には後日「ウェビナー招待メール」をお送りしますので、**メールアドレスの入力を間違えてしまうと登録できずメールをお送り出来ません**のでご注意ください。
- ・お送りする「ウェビナー招待メール」にて、**参加用URL、参加方法、参加までの手順、注意事項**をお知らせしますので、確認の上参加の準備を進めて下さい。
- ・申込者1名のみ本催しに参加できます。1つのメールアドレスで1人しか参加できません。
- ・その他注意事項などにつきましては当会ホームページ上よりご確認の上、参加登録をお願いします。

当会ホームページ URL : <https://www.jpi.or.jp/>